

〈解答〉

- | | | | | | | |
|---|----------|----------|-----------|---------|----------|----------|
| ① | 1 か | 2 こうそく | 3 いせい | 4 射 | 5 独創 | 6 看病 |
| ② | 1 ク | 2 ケ | 3 カ | 4 キ | 5 ア | 6 イ |
| | 7 コ | 8 シ | 9 エ | 10 オ | 11 ス | 12 セ |
| | 13 ウ | 14 サ | ③ | 1 あわれ | 2 うぐいす | 3 おもう |
| | 4 とらえて | 5 なおざり | 6 まいらす | 7 えまき | 8 あおなみ | 9 もみじ |
| | 10 かじつ | 11 がんじつ | 12 きゅうしゅう | 13 ちようし | 14 せつしょう | 15 せつしょう |
| | 16 せつしょう | 17 じゅうごや | 18 おうみ | 19 いちよう | 20 せつしょう | 21 にゆうどう |

配点 各1点 41点満点

〈解説〉

- ① 「不安に駆られる」は「不安な気持ちが高まる」という意味。「駆」は、「か(る)」のほかに「か(ける)」という訓読みもある。音読みは「ク」で、「疾駆」「駆除」などの熟語として用いられる。「疾駆」の「駆」は「速く走る」「速く走らせる」という意味で、「駆除」の「駆」は「追い払う」という意味である。
- ② 「拘」は「捕らえる」、「束」は「縛る」という意味をもつ漢字で、「拘束」は「行動の自由を奪ったり、制限したりすること」という意味になる。「束」の訓読みは「たば」。
- ③ 「為政」は「政治を行うこと」という意味。「為」を使った二字熟語「為替」は、漢字二字以上の熟字全体に日本語の訓をあてて読む「熟字訓」といわれるもので、「かわせ」と読む。
- ④ 「射」の音読みは「シャ」で、「射的」「反射」などの熟語として用いられる。「的を射る」は、「うまく目標に当てる」という意味から転じて、「うまく要点をつかむ」という意味の慣用表現として使われる。「的を射る」が正しい表現であり、「的を得る」は誤りである。
- ⑤ 「独創」は「模倣によらないで、独自の発想でつくりだすこと。また、そのもの」という意味。「独」の訓読みは「ひと(り)」、「創」の訓読みは「つく(る)」である。

6 「看病」は「病人に付き添って世話をすること」という意味。「看」は「対象をよく見る」「見守る」という意味をもつ漢字である。

2 有名なことわざは辞書で意味を調べておくこと。

3 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが、古文読解の基本であるので、以下の原則に精通すること。

原則① 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、それぞれ「わ・い・う・え・お」と読む。
(1～5)

原則② 助詞以外の「ゐ・ゑ・を・ぢ・づ」は、それぞれ「い・え・お・じ・ず」に直す。
(6～10)

原則③ 「くわ・ぐわ」は、それぞれ「か・が」と読む。(11・12)

原則④ 「む」は「ん」と読む。(13)

原則⑤ 「au・iu・eu」の音は、それぞれ「o(オー)・ya(ユー)・yo(ヨー)」と読む。

14 yausu → yōsu 15 kiusiu → kyūsyū 16 teusi → tyōsi 17 じうぐや zingoyya → z

yūgoyya 18 めいみ aumi → ōmi 19 じいてん iteu → ityō 20 sessyau → sessyō 21

じいだん niddan → nyūdō